



## 2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月10日

上場会社名 イサム塗料株式会社  
 コード番号 4624 URL <http://www.isamu.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北村 倍章

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 糸洲 治夫

TEL 06-6453-4511

定時株主総会開催予定日 2021年6月29日

配当支払開始予定日

2021年6月30日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	7,159	△4.4	527	△14.9	701	△10.9	510	△5.5
2020年3月期	7,486	△5.8	619	△6.5	787	△5.3	539	△2.9

(注) 包括利益 2021年3月期 608百万円 (25.7%) 2020年3月期 484百万円 (△11.4%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	267.25	—	3.4	3.8	7.4
2020年3月期	282.75	—	3.7	4.3	8.3

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 一百万円 2020年3月期 一百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	18,941	15,830	81.5	8,096.16
2020年3月期	18,338	15,321	81.5	7,834.80

(参考) 自己資本 2021年3月期 15,434百万円 2020年3月期 14,937百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	681	△26	△107	3,183
2020年3月期	610	△673	△111	2,636

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00	95	17.7	0.6
2021年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00	95	18.7	0.6
2022年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00		20.7	

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,480	—	260	—	320	—	220	—	115.40
通期	7,000	—	550	—	670	—	460	—	241.30

(注) 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期及び対前年同四半期増減率は記載していません。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	2,400,000 株	2020年3月期	2,400,000 株
② 期末自己株式数	2021年3月期	493,647 株	2020年3月期	493,499 株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	1,906,427 株	2020年3月期	1,906,565 株

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	6,558	△4.7	336	△21.6	530	△13.7	414	△7.1
2020年3月期	6,880	△6.2	429	△9.5	618	△5.9	445	△2.0

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	217.17	—
2020年3月期	233.62	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2021年3月期	16,498		13,568		82.2		7,117.03	
2020年3月期	16,051		13,209		82.3		6,928.37	

(参考) 自己資本 2021年3月期 13,568百万円 2020年3月期 13,209百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記業績予想に関する事項につきましては添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3)今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項) .....	11
(連結貸借対照表関係) .....	13
(連結損益計算書関係) .....	13
(連結包括利益計算書関係) .....	14
(連結株主資本等変動計算書関係) .....	14
(連結キャッシュ・フロー計算書関係) .....	15
(セグメント情報等) .....	16
(1株当たり情報) .....	19
(重要な後発事象) .....	19
4. その他 .....	19

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大やそれに伴う政府や各地方自治体の要請等に企業としての対応が必要とされる厳しい状況にあり、2度にわたる緊急事態宣言が発出されながらも、感染症対策と経済活動の両立を目指す中、企業収益は依然厳しさは残りつつ、一部には改善の動きがみられます。個人消費については持ち直しの動きがみられますが、設備投資や雇用情勢は依然として弱い動きとなっております。また、期末にかけても新型コロナウイルス感染症収束の目途は立たない先行きが不透明な状況が続いております。一方で世界の景気は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、依然として厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられます。わが国においては、期末にかけての新型コロナウイルス感染症再拡大や原油価格の動向など、当社グループを取り巻く環境は予断を許さない状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは一定の需要に応えるべく事業活動を継続し、自動車補修用市場でのシェアの拡大を図るため、顧客ニーズに沿った環境対応型塗料や高機能性塗料で販路拡大に注力するとともに、大型車両分野や工業用分野などの新規市場開拓や建築用塗料の受注拡大に向け、営業活動を展開いたしました。

その結果、当連結会計年度の売上高は、71億59百万円（前年同期比4.4%減少）となりました。利益面につきましては、製品の統廃合や総原価低減に取り組んだものの、売上高の減少や物流コスト等の上昇により、営業利益は5億27百万円（前年同期比14.9%減少）、経常利益は7億1百万円（前年同期比10.9%減少）、親会社株主に帰属する当期純利益は5億10百万円（前年同期比5.5%の減少）となりました。

#### ①塗料事業

売上高は、70億57百万円（前年同期比4.4%減少）、営業利益4億85百万円（前年同期比15.0%減少）であります。

分野別の販売状況は、自動車補修用塗料分野では、環境対応型製品として、主力の低VOCベースコート「アクロベース」やハイソリッドクリヤー「アクセルクリヤー」シリーズで市場占有率の向上を図るとともに、環境対応への要請が強いユーザーを中心に特化則対応でP R T R法届出対象外の1液ベースコート「ハイアートNext」で新規ユーザーの獲得に努めました。合わせて、水性1液ベースコート塗料「アクアスDRY」では主力ユーザーへの普及促進を行いました。また、大型車両分野では、トラック荷台床面の木部保護塗料「ウッドプロテクト」、高い防錆効果を発揮する「ハイアートCBエコ防錆コート」で新規市場でのユーザー獲得に注力し、堅調に推移いたしました。さらに、調色作業を標準化・システム化した測色機「彩選短スマート」の販売を促進し、ユーザーの作業効率改善や若年者の技術教育に大きく貢献いたしました。

建築用塗料分野におきましては、主力の「ネオシリカ」シリーズに加え、J I S A 6 0 2 1取得の外壁用塗膜防水材「アトロンエラストマー」、抗ウイルス性、抗菌性、抗カビ性、消臭性に優れた内装用光触媒塗料「エアフレッシュ」など、各種用途に特化した製品を展開いたしました。また、タイル床面等滑り止めの「スキッドガードシリーズ」では、高耐久性を実現した無溶剤2液型ウレタン樹脂塗料「スキッドガードTOUGH」、水性1液型アクリル樹脂塗料「スキッドガードAQUA」の販売促進に取り組みました。

工業用塗料につきましては、ユーザーの環境重視志向を背景に「ハイアートCBエコ」の拡販に注力するとともに、従来の水性塗料と比較して乾燥性・光沢を大幅に向上させた1液型水性アクリル樹脂塗料「アクアシャインGA」において、引き続き個々のユーザーに対応して積極的な個別営業活動に取り組みました。

エアゾール分野におきましても、工業用向け補修用スプレー「エアラッカーエコ」が堅調に推移したほか、2液内部混合型エアースプレー「エアウレタン」、1液カラークリヤー「キャンディーカラー」の新色の追加により、コロナ禍における巣ごもり需要の拡大でD I Y分野が堅調に推移しました。

#### ②その他

売上高は、1億1百万円（前年同期比0.9%減少）、営業利益43百万円（前年同期比12.8%減少）であります。

## (2) 当期の財政状態の概況

## ①資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の資産は、前連結会計年度末と比べ6億3百万円増加して189億41百万円となりました。

資産の増加の主なものは、現金及び預金8億47百万円、有価証券3億円、減少の主なものは投資有価証券4億85百万円であります。

当連結会計年度末の負債は、前連結会計年度末に比べ93百万円増加して31億11百万円となりました。

負債の増加の主なものは、未払法人税等46百万円、未払金27百万円であります。

当連結会計年度末の純資産は、前連結会計年度末に比べ5億9百万円増加して158億30百万円となりました。

増加の主なものは、利益剰余金4億14百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は前期と変わらず、81.5%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、投資有価証券の売却及び償還7億50百万円、税金等調整前当期純利益7億41百万円、有価証券の償還2億円などの増加がありましたが、投資有価証券の取得6億1百万円、定期預金の預入3億円などがあり、全体として期首残高より5億47百万円増加し、31億83百万円(前連結会計年度末26億36百万円)となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は6億81百万円(前連結会計年度6億10百万円)となりました。

その主な要因は、増加した資金では、税金等調整前当期純利益7億41百万円などがあり、減少した資金では、法人税等の支払額1億80百万円、仕入債務の減少1億1百万円などによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は26百万円(前連結会計年度6億73百万円)となりました。

その主な要因は、増加した資金では、投資有価証券の売却及び償還7億50百万円、有価証券の償還2億円、保険積立金の払戻1億円などがあり、減少した資金では、投資有価証券の取得6億1百万円、定期預金の預入3億円、有形固定資産の取得1億9百万円などによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は1億7百万円(前連結会計年度1億11百万円)となりました。

その主な要因は、配当金の支払額96百万円などによるものであります。

## (3) 今後の見通し

今後の経済の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期や感染拡大による影響が見通せず、先行きは極めて不透明な状況であります。

当社グループを取り巻く状況も予断を許しませんが、新型コロナウイルス感染症対策と経済活動の両立を進める中、ワクチンの普及効果があらわれ、人の往来が回復するにつれて当社グループの収益環境も徐々に回復してくるものと考えております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,645,938	5,493,271
受取手形及び売掛金	2,124,207	2,043,022
有価証券	1,201,125	1,501,337
商品及び製品	887,620	859,256
仕掛品	123,713	128,700
原材料及び貯蔵品	202,542	209,666
その他	32,585	30,259
貸倒引当金	△13,276	△8,328
流動資産合計	9,204,454	10,257,183
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,777,408	2,842,488
減価償却累計額	△1,744,432	△1,808,918
建物及び構築物(純額)	1,032,976	1,033,570
機械及び装置	576,902	660,070
減価償却累計額	△459,778	△494,400
機械及び装置(純額)	117,124	165,670
工具、器具及び備品	430,641	497,699
減価償却累計額	△402,486	△391,929
工具、器具及び備品(純額)	28,155	105,770
土地	1,344,467	1,344,467
リース資産	79,554	79,554
減価償却累計額	△49,324	△57,555
リース資産(純額)	30,230	21,999
その他	282	—
減価償却累計額	△141	—
その他(純額)	141	—
有形固定資産合計	2,553,093	2,671,476
無形固定資産		
ソフトウェア	38,925	29,690
施設利用権	570	456
電話加入権	6,555	6,555
リース資産	44	—
無形固定資産合計	46,094	36,701
投資その他の資産		
投資有価証券	4,544,445	4,059,245
長期預金	1,200,000	1,200,000
保険積立金	536,174	477,356
繰延税金資産	218,427	208,850
その他	42,530	32,457
貸倒引当金	△6,876	△2,251
投資その他の資産合計	6,534,700	5,975,657
固定資産合計	9,133,887	8,683,834
資産合計	18,338,341	18,941,017

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	383,031	362,691
電子記録債務	1,138,677	1,148,550
リース債務	9,007	8,603
未払金	176,037	203,164
未払法人税等	91,457	137,771
未払消費税等	32,571	24,911
前受金	4,185	4,280
預り金	67,898	74,178
賞与引当金	113,542	112,348
その他	42,314	41,806
流動負債合計	2,058,719	2,118,302
固定負債		
長期預り保証金	266,674	265,239
リース債務	24,139	15,535
繰延税金負債	40,044	61,592
役員退職慰労引当金	76,007	80,518
修繕引当金	90,000	97,500
退職給付に係る負債	461,788	471,864
固定負債合計	958,652	992,248
負債合計	3,017,371	3,110,550
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,290,400	1,290,400
資本剰余金	1,210,130	1,210,130
利益剰余金	13,221,408	13,635,586
自己株式	△981,734	△982,207
株主資本合計	14,740,204	15,153,909
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	196,851	280,221
その他の包括利益累計額合計	196,851	280,221
非支配株主持分	383,915	396,337
純資産合計	15,320,970	15,830,467
負債純資産合計	18,338,341	18,941,017

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	7,485,871	7,158,525
売上原価	5,100,972	4,962,883
売上総利益	2,384,899	2,195,642
販売費及び一般管理費	1,765,867	1,668,570
営業利益	619,032	527,072
営業外収益		
受取利息	410	302
有価証券利息	12,152	16,903
受取配当金	19,468	17,743
受取賃貸料	51,493	50,734
塗装情報サービス会費	63,607	62,114
生命保険満期差益	10,650	5,680
貸倒引当金戻入額	—	9,044
その他	15,501	18,315
営業外収益合計	173,281	180,835
営業外費用		
支払利息	803	757
支払補償費	1,692	3,928
貸倒引当金繰入額	1,961	—
その他	559	2,010
営業外費用合計	5,015	6,695
経常利益	787,298	701,212
特別利益		
投資有価証券売却益	—	45,915
特別利益合計	—	45,915
特別損失		
たな卸資産廃棄損	19,694	5,955
災害による損失	784	—
特別損失合計	20,478	5,955
税金等調整前当期純利益	766,820	741,172
法人税、住民税及び事業税	211,412	226,073
法人税等調整額	△859	△9,253
法人税等合計	210,553	216,820
当期純利益	556,267	524,352
非支配株主に帰属する当期純利益	17,180	14,850
親会社株主に帰属する当期純利益	539,087	509,502



## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	556,267	524,352
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△72,749	83,388
その他の包括利益合計	△72,749	83,388
包括利益	483,518	607,740
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	466,342	592,872
非支配株主に係る包括利益	17,176	14,868

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,290,400	1,210,130	12,777,653	△981,269	14,296,914
当期変動額					
剰余金の配当			△95,332		△95,332
親会社株主に帰属する当期純利益			539,087		539,087
自己株式の取得				△465	△465
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	443,755	△465	443,290
当期末残高	1,290,400	1,210,130	13,221,408	△981,734	14,740,204

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	269,595	269,595	369,186	14,935,695
当期変動額				
剰余金の配当				△95,332
親会社株主に帰属する当期純利益				539,087
自己株式の取得				△465
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△72,744	△72,744	14,729	△58,015
当期変動額合計	△72,744	△72,744	14,729	385,275
当期末残高	196,851	196,851	383,915	15,320,970

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,290,400	1,210,130	13,221,408	△981,734	14,740,204
当期変動額					
剰余金の配当			△95,324		△95,324
親会社株主に帰属する当期純利益			509,502		509,502
自己株式の取得				△473	△473
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	414,178	△473	413,705
当期末残高	1,290,400	1,210,130	13,635,586	△982,207	15,153,909

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	196,851	196,851	383,915	15,320,970
当期変動額				
剰余金の配当				△95,324
親会社株主に帰属する当期純利益				509,502
自己株式の取得				△473
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	83,370	83,370	12,422	95,792
当期変動額合計	83,370	83,370	12,422	509,497
当期末残高	280,221	280,221	396,337	15,830,467

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	766,820	741,172
減価償却費	135,763	141,808
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△87,250	4,511
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,465	△1,194
修繕引当金の増減額 (△は減少)	7,500	7,500
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△306	△9,572
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△10,430	10,076
受取利息及び受取配当金	△32,030	△34,947
支払利息	803	757
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△45,915
たな卸資産廃棄損	19,694	5,955
保険解約損益 (△は益)	△10,650	△5,680
売上債権の増減額 (△は増加)	323,520	81,185
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△8,232	10,297
仕入債務の増減額 (△は減少)	△212,191	△100,943
未払消費税等の増減額 (△は減少)	7,060	△7,660
その他	△81,491	24,737
小計	816,115	822,087
利息及び配当金の受取額	42,999	38,538
利息の支払額	△204	△148
法人税等の支払額	△249,192	△179,732
営業活動によるキャッシュ・フロー	609,718	680,745
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△600,000	△300,000
定期預金の払戻による収入	600,000	—
有価証券の取得による支出	△400,000	—
有価証券の売却及び償還による収入	300,000	200,000
有形固定資産の取得による支出	△49,003	△108,955
無形固定資産の取得による支出	—	△30,547
投資有価証券の取得による支出	△600,598	△600,599
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	749,541
保険積立金の積立による支出	△40,566	△35,502
保険積立金の払戻による収入	116,219	100,000
その他	692	141
投資活動によるキャッシュ・フロー	△673,256	△25,921
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の純増減額 (△は増加)	△465	△473
リース債務の返済による支出	△12,630	△9,007
配当金の支払額	△95,233	△95,564
非支配株主への配当金の支払額	△2,447	△2,447
財務活動によるキャッシュ・フロー	△110,775	△107,491
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△174,313	547,333
現金及び現金同等物の期首残高	2,810,251	2,635,938
現金及び現金同等物の期末残高	2,635,938	3,183,271

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1. 連結の範囲に関する事項

(1) 連結子会社の数 4社

主要な連結子会社の名称

イサムエアーズール工業(株)

明勇色彩(株)

イサム土地建物(株)

進勇商事(株)

(2) 主要な非連結子会社の名称等

主要な非連結子会社

イサムモータープール(株)

(連結の範囲から除いた理由)

非連結子会社は、小規模会社であり、総資産、売上高、当期純損益（持分に見合う額）及び利益剰余金（持分に見合う額）等は、いずれも連結財務諸表に重要な影響を及ぼしていないためであります。

2. 持分法の適用に関する事項

(1) 持分法適用の非連結子会社数

該当事項はありません。

(2) 持分法適用の関連会社数

該当事項はありません。

(3) 主要な持分法を適用しない非連結子会社及び関連会社名

主要な非連結子会社

イサムモータープール(株)

(持分法を適用しない理由)

持分法非適用会社は、当期純損益（持分に見合う額）及び利益剰余金（持分に見合う額）等に及ぼす影響が軽微であり、かつ全体としても重要性がないため、持分法の適用から除外しております。

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社の事業年度末日と連結決算日は一致しております。

4. 会計方針に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

イ 有価証券

(イ) 満期保有目的の債券

償却原価法（定額法）を採用しております。

(ロ) その他有価証券

時価のあるもの

決算期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は、総平均法により算定）を採用しております。

時価のないもの

総平均法による原価法を採用しております。

ロ たな卸資産

通常の販売目的で保有するたな卸資産

評価基準：原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）

(イ) 製品・仕掛品

総平均法

(ロ) 商品・原材料・貯蔵品

先入先出法

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

イ 有形固定資産（リース資産を除く）

定率法（ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備は除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法）を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物 10～50年

機械及び装置 8～10年

ロ 無形固定資産（リース資産を除く）及び長期前払費用

定額法を採用しております。

なお、ソフトウェア（自社利用分）については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

ハ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数として、残存価額を零とする定額法を採用しております。

(3) 重要な引当金の計上基準

イ 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

ロ 賞与引当金

従業員に対する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

ハ 役員退職慰労引当金

役員に対する将来の退職慰労金の支出に備えて、役員退職慰労金規程（内規）に基づく期末要支給額を計上しております。

ニ 修繕引当金

イサム土地建物㈱はマンション経営を行っており、将来の定期的な大規模修繕に備えて当連結会計年度において発生していると認められる額を計上しております。

(4) 退職給付に係る会計処理の方法

当社及び連結子会社は、退職給付に係る負債及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。

(5) 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、要求払預金及び取得日から3ヶ月以内に満期の到来する流動性の高い、容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない短期的な投資からなっております。

(6) その他連結財務諸表作成のための重要な事項

消費税及び地方消費税の会計処理

税抜方式

## (連結貸借対照表関係)

## 1 輸出貿易信用状取引

輸出貿易信用状取引における銀行間決済未済の銀行手形買取残高があります。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
銀行手形買取残高	3,204千円	2,058千円

## 2 当座貸越契約

当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行2行と当座貸越契約を締結しております。これら契約に基づく連結会計年度末における借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
当座貸越極度額	2,000,000千円	2,000,000千円
借入実行残高	—	—
差引額	2,000,000	2,000,000

## (連結損益計算書関係)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要なものは次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
運送費	201,028千円	197,804千円
支払手数料	174,711	182,229
貸倒引当金繰入額	1,076	—
従業員給料	502,684	492,703
賞与及び賞与引当金繰入額	139,585	136,045
役員退職慰労引当金繰入額	16,705	13,948
退職給付費用	49,941	44,339

※2 当期製造費用に含まれる研究開発費の総額

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
	143,298千円	172,316千円

※3 期末たな卸高は収益性の低下に伴う簿価切下後の金額であり、次のたな卸資産評価損が売上原価に含まれております。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上原価に含まれているたな卸資産評価損	29,370千円	34,134千円

(連結包括利益計算書関係)

※ その他の包括利益に係る組替調整額及び税効果額

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
その他有価証券評価差額金：		
当期発生額	△103,382千円	169,681千円
組替調整額	—	△45,915
税効果調整前	△103,382	123,766
税効果額	30,633	△40,378
その他有価証券評価差額金	△72,749	83,388
その他の包括利益合計	△72,749	83,388

(連結株主資本等変動計算書関係)

前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	当連結会計年度期首 株式数 (株)	当連結会計年度 増加株式数 (株)	当連結会計年度 減少株式数 (株)	当連結会計年度末 株式数 (株)
発行済株式				
普通株式	2,400,000	—	—	2,400,000
合計	2,400,000	—	—	2,400,000
自己株式				
普通株式(注)	493,371	128	—	493,499
合計	493,371	128	—	493,499

(注) 普通株式の自己株式の株式数の増加128株は、単元未満株式の買取りによるものであります。

2 新株予約権及び自己新株予約権に関する事項

該当事項はありません。

3 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	47,666	25	2019年3月31日	2019年6月28日
2019年11月7日 取締役会	普通株式	47,666	25	2019年9月30日	2019年12月10日

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2020年6月26日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	47,663	25	2020年3月31日	2020年6月29日



当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

1 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	当連結会計年度期首 株式数（株）	当連結会計年度 増加株式数（株）	当連結会計年度 減少株式数（株）	当連結会計年度末 株式数（株）
発行済株式				
普通株式	2,400,000	—	—	2,400,000
合計	2,400,000	—	—	2,400,000
自己株式				
普通株式(注)	493,499	148	—	493,647
合計	493,499	148	—	493,647

(注) 普通株式の自己株式の株式数の増加148株は、単元未満株式の買取りによるものであります。

2 新株予約権及び自己新株予約権に関する事項

該当事項はありません。

3 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日
2020年6月26日 定時株主総会	普通株式	47,663	25	2020年3月31日	2020年6月29日
2020年11月6日 取締役会	普通株式	47,662	25	2020年9月30日	2020年12月10日

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2021年6月29日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	47,659	25	2021年3月31日	2021年6月30日

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
現金及び預金勘定	4,645,938千円	5,493,271千円
預入期間が3か月を超える定期預金	△2,010,000	△2,310,000
現金及び現金同等物	2,635,938	3,183,271

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの事業セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであり、「塗料」及び「不動産賃貸業」からなりますが、「不動産賃貸業」は重要性がないため報告セグメントの開示は行っておりません。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度（自2019年4月1日 至2020年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント	その他	合計	調整額	連結財務諸表 計上額
	塗料事業				
売上高					
外部顧客への売上高	7,383,681	102,190	7,485,871	—	7,485,871
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,383,681	102,190	7,485,871	—	7,485,871
セグメント利益	570,252	48,780	619,032	—	619,032
セグメント資産	17,444,791	893,550	18,338,341	—	18,338,341
セグメント負債	2,893,858	123,513	3,017,371	—	3,017,371
その他の項目					
減価償却費	121,223	14,540	135,763	—	135,763
有形固定資産増加額	72,340	—	72,340	—	72,340
無形固定資産増加額	29,197	—	29,197	—	29,197

## 当連結会計年度（自2020年4月1日 至2021年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント	その他	合計	調整額	連結財務諸表 計上額
	塗料事業				
売上高					
外部顧客への売上高	7,057,276	101,249	7,158,525	—	7,158,525
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,057,276	101,249	7,158,525	—	7,158,525
セグメント利益	484,544	42,528	527,072	—	527,072
セグメント資産	18,070,668	870,349	18,941,017	—	18,941,017
セグメント負債	2,977,795	132,755	3,110,550	—	3,110,550
その他の項目					
減価償却費	127,276	14,532	141,808	—	141,808
有形固定資産増加額	249,459	—	249,459	—	249,459
無形固定資産増加額	1,350	—	1,350	—	1,350

**【関連情報】**

前連結会計年度（自2019年4月1日 至2020年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

塗料事業における外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないためならびに海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自2020年4月1日 至2021年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

塗料事業における外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないためならびに海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

**【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】**

前連結会計年度（自2019年4月1日 至2020年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自2020年4月1日 至2021年3月31日）

該当事項はありません。

**【報告セグメントごとの負ののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】**

前連結会計年度（自2019年4月1日 至2020年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自2020年4月1日 至2021年3月31日）

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	7,834.80円	8,096.16円
1株当たり当期純利益	282.75円	267.25円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	539,087	509,502
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	539,087	509,502
普通株式の期中平均株式数(株)	1,906,565	1,906,427

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. その他

## ① 代表取締役の異動

該当事項はありません。

## ② その他の役員の異動

・ 新任取締役候補

取締役 山碓 昌之 (現 当社大阪支店長)

## ③ 就任予定日

2021年6月29日